

取り扱い説明書 DAYTONA

950718 携行缶①

*御使用に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。

*この説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管して下さい。

ガソリン携行缶

パーツNO.

18235 (10L)

18236 (20L)

この度は、デイトナ「ガソリン携行缶」を、お買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
御使用になる前には、必ずこの取り扱い説明書をよくお読み下さい。また、御使用前に必ず商品の
内容をお確かめ下さい。なお、万一お気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店にご相談下さい。

<特徴>

- ・消防法に合格。
- ・内部完全防錆処理。
- ・ガソリンが噴き出しにくいエア抜き構造のネジ式キャップ。

<商品内容>

NO	パーツ名	サイズ	数量	NO	パーツ名	サイズ	数量
1	缶本体		1	4	パッキン (小)		1
2	平キャップ		1	5	パッキン (大)		1
3	ネジ部		1	6	ノズル		1



警告

ガソリン携行缶を使用するにあたって、特に以下の項目に注意して下さい。
間違った取り扱いや不注意な行為は重大な事故の原因ともなり、また、補償の
対象外となりますので御注意下さい。

- ★火気のある所では絶対に使用しないで下さい。缶の中で圧縮された空気がガス化しているため引火性が高くなり、少しの火気でも引火する恐れがあるため大変危険です。
- ★キャップの開閉順序を絶対に間違えないで下さい。開閉順序を間違えると缶の内外の圧力差によってガソリンが噴き出し、大変危険です。(開閉順序は次項に記載)
- ★キャップやネジ部を外したままの保管や運搬は絶対にしないで下さい。ガソリンが漏れて、引火の原因となる恐れがあります。
- ★自動車等、エンジンやバッテリーなどがついている物に給油する場合には、引火する恐れがあるためエンジンやメインスイッチ、その他の電源スイッチをすべて切ってから行って下さい。
- ★静電気などでも引火する恐れがあります。ナイロンやポリエステルなど静電気の起きやすい服装をしてしまうと、静電気が発生して引火する恐れがありますので充分注意して下さい。
- ★缶を横にしての使用は絶対にしないで下さい。ネジ部を外すとき、空気孔からガソリンが噴き出して引火の原因となります。
- ★缶の上に乗ったり腰掛けたり、あるいは重い物を乗せないようにして下さい。缶が破損しガソリン漏れの原因となります。
- ★缶の破損等によって「漏れ」が発生した場合、缶内のガソリンをすべて拭き取った上、すぐ使用を中止して下さい。
- ★万が一、火災が発生した場合は消化器等で速やかに消火して下さい。他の箇所に燃え移ったりして手に負えない場合には、即刻、消防署へ連絡して消火を依頼して下さい。
- ★空気孔の穴は、ゴミ等で塞がれることがないように常時注意して下さい。ゴミ等が詰まっていた場合は、すぐ取り除いて下さい。
- ★缶内に指定容量以上のガソリンを入れないで下さい。また、缶を落として怪我をしたり、ガソリンをこぼしたりしないよう、両手でしっかりと持って給油して下さい。
- ★ガソリンは揮発性の液体です。次のような状況で保管しますと、気温の変化によって缶内外の圧力差が生じ、缶がへこむ原因となりますので絶対にしないで下さい。(気温が20°下がると、缶に対し、約1.5tの負圧が掛かります。)
- ・直射日光が当たるような場所での長時間の保管はしないで下さい。(缶の温度は60°Cくらいまで上昇します。)
- ・車の室内やトランクルーム内での保管はしないで下さい。
- ・気温差の激しい場所や湿度の高い場所での保管はしないで下さい。(特に気温の高い場所から低い場所に移すときに注意)
- ・その他、高温になる場所や狭く密閉された場所での保管はしないで下さい。

DAYTONA

ご使用になる前に

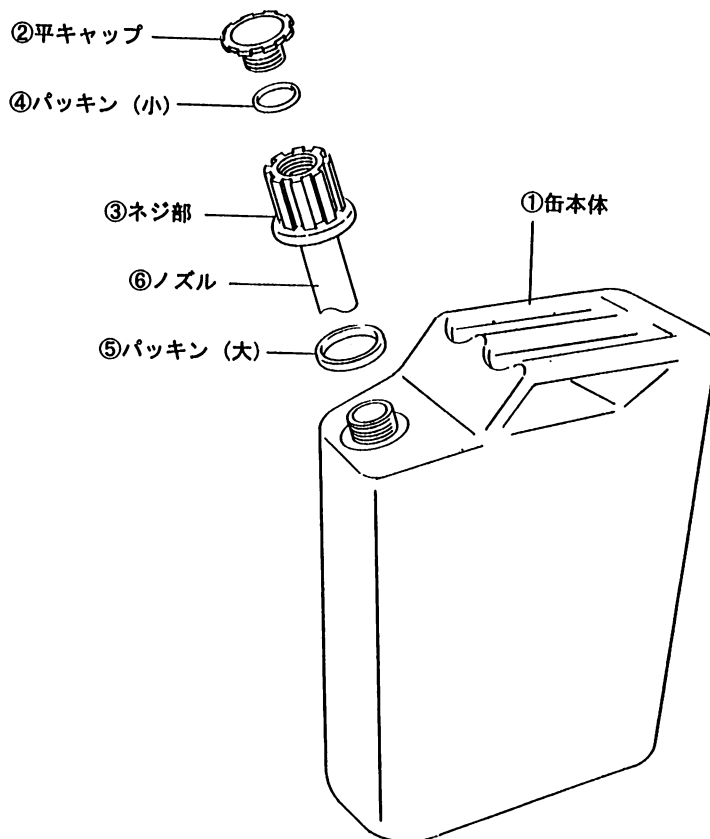
- ・最初にご使用になる前に、開閉順序の要領でネジ部を開けた後に500cc程のガソリンを入れ、ネジ部を閉めてよく振ります。それから約10分放置しておき、ガソリン漏れのないことを確認してから、本格的に使用を開始して下さい。
- ・使用前には、必ず毎回、缶本体・平キャップ・ネジ部・ノズル・パッキン（大）（小）を点検し、異常がないことを確認してからお使い下さい。

ガソリン携行缶のキャップ開閉順序

1. キャップを開くときは、必ず周辺に火気がないことを確認してから、水平な場所で行って下さい。
2. ネジ部を左に（時計回りの反対方向）少し回し、5秒間待ちます。これは缶内の圧縮空気を抜くためです。
3. 圧縮空気が抜けたら更に左（時計回りの反対方向）へ回し、缶から分離させます。（このとき、ノズルがネジ部先端に付いてきます。）
4. 平キャップを左に回し、ネジ部と分離します。
缶内のガソリンが噴き出しますので、最初に平キャップだけを緩めることは絶対にしないで下さい。
5. ネジ部には、平キャップと反対側にノズルをセットしてありますので、そのままノズルが上を向くように逆さまにして、缶にあてがい、右（時計回り）に回して確実に締め付けて下さい。
 *ネジ部が缶本体に確実に接続されていないと、ノズルの付け根部分からガソリンが漏れ出して非常に危険ですので、必ず確実に締め付けて下さい。また、縦に揺らしたことが原因で、ネジ部を緩めたときに空気孔からガソリンが流出する場合がありますが、これは缶内部に設けてある空気抜きパイプの中に入っていたガソリンが出てきたためであり、商品の異常ではありません。この場合はすぐにウエス等で、流出したガソリンを拭き取って下さい。
6. 使用後にノズルを収納するときは、開口の逆手順で行って下さい。

その他

- ・キャップ開口の手順は、缶の取っ手部分にも貼付してあります。御使用になる前は必ずよくお読み下さい。
- ・この商品は、改良等のため予告なく仕様を変更する場合があります。予め御了承下さい。



株式会社 デイトナ

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805

※この用紙は再生紙を使用しております。

◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は、「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955まで。